

安全データシート

改訂日: 2023年4月3日

1. 製品及び会社情報

化学品の名称
推奨用途
会社名
住所
電話番号

pH標準緩衝液 pH1.68
試験研究用
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
BA1001

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類
健康に対する有害性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性: 区分1
目に対する重篤な損傷又は眼刺激性: 区分1

ラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷
重篤な眼の損傷

注意書き

【安全対策】
ガス/ミスト/蒸気を吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。
【救急処置】
飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
吸入した場合: 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ/皮膚に付着した/眼に入った場合は直ちに医師に連絡すること。
【保管】
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名
別名
化学式
化学物質を特定できる一般的な番号
成分及び含有量

混合物
二しゅう酸三水素カリウム水溶液
四しゅう酸カリウム水溶液
 $\text{KH}_3(\text{C}_2\text{O}_4)_2 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$ [二しゅう酸三水素カリウム二水和物]
CAS RN: 6100-20-5 [二しゅう酸三水素カリウム二水和物]
二しゅう酸三水素カリウム水溶液100% (①二しゅう酸三水素カリウム二水和物 ②水)
* 成分濃度は別表を参照
(2)-922 [二しゅう酸三水素カリウム二水和物]

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

別表 成分表

| 成分① | 含有量 | 成分② | 含有量 |
|---|--------------------|--------------------------|-----|
| 二しゅう酸三水素カリウム二水和物 (CAN No. 6100-20-5) | 12.7g/L (約1.3%) | 水 (CAS No. 7732-18-5) | 残り |

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

石けん水、水で十分洗い流す。

眼に入った場合

医師の診断を受ける。

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

医師の診断を受ける。

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

燃焼性はない。周辺火災に適した消火剤を用いる。できれば容器を安全な場所に移動する。不可能の場合は周辺に水をかけ冷却する。

使ってはならない消火剤

周辺火災に適した消火剤を用いる。

| | |
|-----------------------|--|
| 特有の危険有害性 | 該当情報なし。 |
| 特有の消火方法 | 該当情報なし。 |
| 消火を行う者の保護 | 消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。 |
| 6. 漏出時の措置 | |
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | 作業の際には適切な保護具を着用し、風上から作業して風下の人を退避させる。 |
| 環境に対する注意事項 | 河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | 乾燥砂、おがくず、ウエス等に吸収させて、空容器に回収し、後は多量の水で洗い流す。 |
| 7. 取扱い及び保管上の注意 | |
| 取扱い | |
| 技術的対策(局所排気、全体換気等) | 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 |
| 安全取扱い注意事項 | 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。接触、吸入又は飲み込まないこと。屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 |
| 接触回避 | 『10. 安定性及び反応性』を参照。 |
| 衛生対策 | 取扱い後はよく手を洗うこと。この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 |
| 保管 | |
| 安全な保管条件 | 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。施錠して保管すること。 |
| 安全な容器包装材料 | ポリエチレン |
| 8. 暴露防止及び保護措置 | |
| 許容濃度 | |
| 管理濃度 | 未設定(二しゅう酸三水素カリウム二水和物) |
| 日本産衛学会 | 未設定(二しゅう酸三水素カリウム二水和物) |
| ACGIH | 未設定(二しゅう酸三水素カリウム二水和物) |
| 設備対策 | この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。 |
| 保護具 | |
| 呼吸器の保護具 | 適切な呼吸器保護具を着用すること。 |
| 手の保護具 | 適切な保護手袋を着用すること。 |
| 目の保護具 | 適切な眼の保護具を着用すること。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 適切な保護衣を着用すること。 |
| 9. 物理的及び化学的性質 | |
| 物理状態 | 液体 |
| 色 | 無色澄明 |
| 臭い | 無臭 |
| 融点/凝固点 | 該当情報なし。 |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | 該当情報なし。 |
| 燃焼性 | 対象外(液体) |
| 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 | 不燃性 |
| 引火点 | 不燃性 |
| 自然発火温度 | 該当情報なし。 |
| 分解温度 | 該当情報なし。 |
| pH | 1.68(20~25°C) |
| 動粘性率(粘度) | 該当情報なし。 |
| 溶解度 | 水と任意の割合で混和する。 |
| n-オクタノール/水分分配係数 | 該当情報なし。 |
| 蒸気圧 | 該当情報なし。 |
| 密度及び/又は相対密度 | 該当情報なし。 |
| 相対ガス密度 | 該当情報なし。 |
| 蒸発速度 | 該当情報なし。 |
| 10. 安定性及び反応性 | |
| 反応性、化学的安定性 | 通常の取扱いにて安定している。 |
| 危/危険有害反応可能性 | 酸化剤と反応する。 |
| 避けるべき条件 | 高温多湿、日光 |
| 混触危険物質 | 強酸化剤 |
| 危険有害な分解生成物 | 該当情報なし。 |
| 11. 有害性情報 | |
| 急性毒性 | 該当情報なし。(分類できない) |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | 本製品はpH2以下であり腐食性物質である。(区分1) |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 本製品はpH2以下であり腐食性物質である。(区分1) |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | 呼吸器: 該当情報なし。(分類できない) 皮膚: 該当情報なし。(分類できない) |
| 生殖細胞変異原性 | 該当情報なし。(分類できない) |
| 発がん性 | 該当情報なし。(分類できない) |

| | | |
|---|-------------|---|
| 生殖毒性 | | 該当情報なし。(分類できない) |
| 特定標的臓器毒性(単回暴露) | | 該当情報なし。(分類できない) |
| 特定標的臓器毒性(反復暴露) | | 該当情報なし。(分類できない) |
| 誤えん有害性 | | 該当情報なし。(分類できない) |
| 12. 環境影響情報 | | |
| 生態毒性 | 短期: (急性) | 該当情報なし。(二しゅう酸三水素カリウム二水和物) |
| | 長期: (慢性) | 該当情報なし。(二しゅう酸三水素カリウム二水和物) |
| 残留性・分解性 | | 該当情報なし。 |
| 生態蓄積性 | | 該当情報なし。 |
| 土壌中の移動性 | | 該当情報なし。 |
| オゾン層に対する有害性 | | 成分物質(二しゅう酸三水素カリウム二水和物)はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。(GHS分類:分類できない) |
| 13. 廃棄上の注意 | | |
| 化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報 | | 産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。 |
| 14. 輸送上の注意 | | |
| 国連番号 | | — |
| 品名(国連輸送名) | | — |
| 国連分類 | | — |
| 容器等級 | | — |
| 海洋汚染物質 | | — |
| 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 | | 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。 |
| 国内規制がある場合の規制情報 | | |
| 陸上輸送 | | 消防法の規定に従う。 |
| 海上輸送 | | 船舶安全法の規定に従う。 |
| 航空輸送 | | 航空法の規定に従う。 |
| 応急措置指針番号 | | — |
| 15. 適用法令 | | |
| 化学物質管理促進法(PRTR法) | | 指定化学物質に該当しない。 |
| 毒物及び劇物取締法 | | 毒物及び劇物に該当しない。 |
| 労働安全衛生法 | | 名称等を表示し、又は通知すべき有害物[施行令別表9]に該当しない。 |
| 消防法 | | 危険物に該当しない。 |
| 参考文献 | | 安全衛生情報センターHP 17423の化学商品(化学日報社) |

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。